



## 隣近所と仲良くして 皆が安心できる地域に

生まれは千住。昭和44年、小学校入学のタイミングで伊興エリアへ。越してきて5年後に「東伊興町会」が設立。初代の副会長は海老沼会長の父親だった。また、母親は小中学校のPTA役員。地域を盛り上げていた両親の影響もあり、結婚後、自身も町会の役員になり、同じ頃、東伊興小学校おやじの会のメンバーに。すぐに東伊興小学校のPTA副会長、会長と歴任し、伊興エリアのPTA会長の代表になり、その後、都と区のPTAの連合会でもそれぞれ副会長を務めた。町会長になったのもPTA会長のご縁がきっかけ。東伊興小学校の歴代PTA会長の会議で、吉川伊興東町会長や元井狭間町会長と出会い、近隣町会同士の連携の重要性を考えるようになった。やがて、町会内からの推薦もあり、平成30年56歳で会長になる。もうすぐ7年目だ。

## 辛い時期に支えてくれた 皆さんへの恩返しとして

大手文具メーカーの販売員として百貨店に勤めていた頃に知り合ったご主人と結婚後は、妻として、3人の母親として、家族を最優先にした。その頃住んでいた区外の小学校でPTA役員を11年務めたのも子どものためだと思ったからだ。ご主人の事業が傾いた際も全力で支えた。子どもたちが独立したことを機に、平成26年に現在の区営アパートへ。翌年の1月、ご主人が体調を崩す。大病を患ったのだ。ちょうどその年の4月から持ち回りを務める自治会役員の順番。治療のため入院が続くご主人のサポートをしながらも、役員の仕事を怠らなかつた。そして8月、ご主人は亡くなってしまった。本人の希望で自宅療養にした翌日のことだった。自宅で過ごせたのは一晩。昼間ずっと、窓の外の景色を嬉しそうに眺めていた姿が忘れられないという。



昭和37年生まれ、61歳。仕事は設備工事業の経営者。父親が創業した企業を継いだ。朝5時30分には出社して仕事の準備をするのが日課。自宅、事務所、倉庫や車、車庫のシャッターの鍵など常時持ち歩いている鍵の数はなんと50個以上！「働かざる者食うべからず」の精神で町会に家庭に仕事に邁進中である。

会長になってすぐに取り組んだのが防犯対策。町会エリア内を役員と歩きながら確認し、地域に必要な対策について話し合った。取り組みが認められ、国道4号線の西側で初の「防犯まちづくり推進地区」に認定。防犯カメラの設置を進めた。設置は区の助成金を活用すれば町会の負担が少ないことを情報共有し、防犯を重要視した3町会でのカメラの設置につながった。いずれも「防犯まちづくり推進地区」だ。「隣近所と仲良くすれば、皆が安心して暮らせる地域になるよね」。

当時、月に1回の役員会議があった。ご主人を亡くしたばかりの池田会長を心配し、皆さんが声をかけてくれたり外出に誘ってくれ、ふさぎ込まずに済んだ。会長になって5年目。役員が持ち回りのアパートではあまり例が無い長さだ。「会長には話しやすい」と入居者から多くの相談が寄せられる。「ずっと会長でいて欲しい」という声を受けて続けてきた。「恩返しです。私もこの皆さんに助けてもらったので、お互いに協力し合うのが当たり前だと思っています」。

# 会長に訊け!



昭和22年生まれ、77歳。伊興住区センターの講座で続けているカラオケ、お茶、俳句が趣味。最近のお気に入り、友人に誘われた歌舞伎映画。好きな言葉は「明日は明日の風が吹く」。嫌なことがあっても翌日に持ち越さない。映画「風と共に去りぬ」のヒロインのように、凛とした姿勢を心がけている。

伊興町自連 副会長、伊興四丁目住宅自治会長  
**池田 良江** Ikeda Yoshie

伊興町自連 監査、東伊興町会長  
**海老沼 新雄** Ebinuma Aro

## 町会・自治会に加入する 3ステップ

※ 自分のエリアの町会・自治会員をご存知の方は直接お申込みください。  
(都営・区営住宅は入居時にご案内します)

1 加入方法がわからない方は  
下記の方法でお申込み

● ネットで 足立区公式サイトへ



上記QRコードを読みとってください

ページ内の  
足立区オンライン  
申請システム  
に入力

● 郵送・ファクスで 住所、氏名、電話番号を明記し送付

郵送 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1  
地域調整課地域調整係宛て  
ファクス 03-3880-5603  
問合せ 足立区地域調整課 TEL 03-3880-5864

2 該当の町会・自治会から  
連絡が来ます

3 加入!



ようこそ!

地域の団結で  
安心を!





堀之内晴信会長推薦!

### ウチの役員、ココが凄い!

10 伊興南町会 副会長 平木トミ子さん

出身は台東区。足立区で暮らし始めて31年になる。そのうち10年、町会の女性部長を務めてきた。8年前からは副会長も兼務している。物腰柔らかく、笑顔があたたかい。引っ越してきたご家庭があると平木さんが声をかけることも多い。入会につながった人もいます。「知り合いが増えて、挨拶ができるようになると私が嬉しいの」という。とにかく「人が好き」。子どもが中高生の頃はPTA会長も務めた。

相手に寄り添ってお話を聴く「傾聴ボランティア養成講座」の第1期生でもある。多い時は20名程の皆さんの担当になることも。誰かのお役に立てること、喜んでもらえることが嬉しい。町会の役員も同じだ。その一心で今日も多くの皆さんに笑顔を向けている。



### 伊興エリアの おすすめ

#### 知る人ぞ知る桜の並木道

1 伊興北町会

原富雄会長が語る!

舎人公園や大境公園など、伊興エリア近隣の桜の名所はいくつかあるが、おすすめしたいのが当町会の地域内、西伊興四丁目にある桜の並木道。赤山街道のはんき橋交差点から南へ約500m続く。ご近所の皆さんにはお馴染みだが、区内では知られざる桜の名所だと言えるのでは。ソメイヨシノと八重桜があるのでシーズン中2回楽しめる。区内外からも、毎年楽しみに足を運ぶ人もいらっしゃると思う。

写真は咲き始めの頃、当町会、会計の柴田祐子さんが撮影。満開の様子は現地でご確認ください。今年の東京の開花予想日は3月中旬頃と聞く。住宅地のためマナーを守りながら、桜並木の見事な様子を楽しみ、愛でいただければ嬉しい。



### 私が会長だった頃

取材：永田正三会長

2 伊興西町会 元会長 (平成23~30年度) 猪野湛久さん

エンジニアとして勤務後、個人タクシー業を起業。足立区に越してきたタイミングで町会に入会した。すぐに交通部の副部長になり、以降、バス旅行を企画して好評だった文化部長、会長の補佐として実務を担う総務部長など、複数の部長を歴任。平成18年には副会長になり、会長になったのは平成23年。8年務めた。会長時代も入れると、役員を務めたのは38年。常に個人タクシー業と両立していた。一番忙しかった頃は、夜7時から朝5時まで働いた後、仮眠をとって、午前中に町会の用事を済ませたこともあったとか。

バーベキュー大会を企画したり、掲示板を手作りしたりと会長時代も自ら動くことも多かった。防犯カメラの設置を考案したのもその頃だ。「当たり前のことをやっていただけ」と振り返る。「近所に仲間が増えて一緒に過ごせるのは楽しいよ」。

社交ダンスの講師を務め、足立区社交ダンス協会の設立メンバー。発表会の入場料の一部を寄付したことも



※伊興英知自治会 (伊興町自連未加入)

### ウェルカム、18 伊興東町会!

子ども向けのイベント等が多いのが伊興東町会の自慢の一つ。中でも力を入れているのが「やんちゃ太鼓」。小学6年生までの子どもたちが元気に太鼓を鳴らし続けて28年。日々練習を重ね、区内外のイベント等で活動している。現役を引退し、OG、OBになってもイベント演奏に参加する子どもも多く、長くご縁が続いているのも魅力。新メンバーも随時募集中。「家族みんなで楽しく」がモットーの町会にぜひご参加を!



吉川輝雄会長 歓迎!



▲「やんちゃ太鼓」現役生とOGの皆さん。現役生は幼稚園年長~小6の9名で活動中!

### 19 狭間町会 ヒストリー



狭間道プチテラス

当紙の媒体名の由来の「いちばん始めにできたところ」という言葉は「狭間道プチテラス」に刻まれている。区の多くの地域が中世以前の歴史が遡れない中、伊興は約1700年前の古墳時代の遺跡が発見されている。この話を元井会長が聞いたのは幼い頃。周りには地域の歴史を知る大人が多かった。関東大震災後、多くの寺院が壊れてきて「伊興寺町」ができたことも聞いた。寺町を含む町会エリアを「足立区の鎌倉」と呼んで誇ってきた。歴史を知ると地域への愛着も増す。今は会長をはじめ町会の人々が若い世代に語り継いでいる。

元井一壽会長が 振り返る!

- 3 伊興五丁目アパート自治会 4 伊興四丁目住宅自治会 5 伊興二丁目自治会 6 伊興中央町会 8 西新井四丁目諏訪木町会 9 西新井第三団地自治会 12 伊興町自治会 13 伊興町第2アパート自治会 15 伊興仲町会 16 伊興町前沼アパート自治会 17 伊興北根町会 20 東伊興町会

### interview 自治会 入って良かった

樋田憲次会長 推薦!

7 西新井四丁目自治会 杉下さんファミリー



10年前引っ越して間もない頃、近所の人が自治会に誘ってくれた。あえて自ら地域に入っていくのはハードルが高い。そのため、「誘っていただき、ありがたかった」。出身の群馬県はお祭りが盛んで、近所で助け合うのが当たり前。自治会への入会も迷わなかった。幅広い年代の近所の皆さんとは、子どもの学校だけではなかなか知り合う機会が無い。入会したことで家族ぐるみの知り合いが増え、とても心強い。「入会のメリットの有無ではなく、地域の安全・安心を維持するために必要な組織だから、一緒に協力したいという気持ちです」。樋田会長も「地域の人が仲良くなれば、安全・安心なまちになるよね」と頷く。杉下さんも「入会していない皆さんにも、一緒に協力しませんかと伝えたいです」。

杉下さんファミリー (父、母、小学生の息子の3人家族)



### HOT NEWS

新年会の司会を務めた金子實会長のレポート

#### 賑やかに開催 4年ぶりの新年会 11 伊興町アパート自治会

能登半島地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りし、全員で黙祷することから始まった新年会。甚大な被害を受け、今なお大変な状況の被災地に思いを馳せ、いざという時の備えや対策が大切なことを改めて話し合った。

我が町自連と伊興地区対 (子どもたちの健全な成長を見守る団体等が集まった組織) のメンバーが一堂に会する新年会の開催は4年ぶり。第一部ではご来賓の皆様からご祝辞をいただき、第二部では町会・自治会、地区対の各団体から活動状況や今年の抱負等、貴重なお話があった。チーム「伊興」



として良好な関係を築き、地域の課題解決につながる場の一つが新年会である。有意義な時間を過ごすことができた。

伊藤勝広会長の レポート!

#### 他自治会との共同企画 年3回の講座を開催! 14 伊興三丁目アパート自治会

伊興町自治会との共同で、3回の講座を企画。区の助成金で購入したプロジェクターとスクリーンをフル活用し映像や写真で「伝わる」内容を目指した。

8月は「平和祈念」をテーマに東京大空襲の体験者による絵を映しプロの役者が手記を語る講座、12月は竹の塚警察署の担当者による身になる「防犯対策」講座、1月は区災害対策課職員による「防災」講座。いずれも好評を博した。

今後も伊興町自治会との連携は続け、著作権フリーの映画上映会も企画!



8/26 平和祈念講座

1/27 防災セミナー